

集中プログラム受講生の学習の記録
－発表と作文－

(2004 年度前期)

2004 年 8 月

長崎大学留学生センター

目 次

第1部 専門の研究についての発表 (2004年7月23日実施)

- | | |
|---------------------------------------------------|----|
| 1. スイッチング電源について
カンティチャ・キッティピーラチョン(タイ) | 7 |
| 2. 中日経済協力について
劉 琳(中国) | 10 |
| 3. 生物餌料としての動物プランクトン
ステンリー・ウルル(インドネシア) | 11 |
| 4. 橋の構造
ジョウエイド・バシー・アハマド(アフガニスタン) | 14 |
| 5. 歯周病
アナ・マリア・マサエ・スズキ(ブラジル) | 17 |
| 6. ディーゼルエンジンの排出ガスじょうかにかんする研究
オルウォレ・アミダ(ナイジェリア) | 20 |
| 7. ねったい地域でのかきのようしよく
エベル・エリ・バスケス(エルサルバドル) | 23 |
| 8. 電離放射線と甲状腺ガン
ブルギン・ディミトリ(ロシア) | 26 |
| 9. なぜ日本に来て、機械工学を勉強したいと思ったか?
石 立宏(中国) | 29 |
| 10. アンテナの数値解析法に関する研究
エルファン・ロハディ(インドネシア) | 30 |
| 11. 建物の再建
ファーディー・ファルハト(シリア) | 33 |
| 12. 水産利用学とかまぼこ
趙 慧(中国) | 37 |

第2部 宿題の作文から

- | | | |
|---------------------|-------------------|----|
| 1. 日本に来たとき | カンティチャ・キッティピーラチョン | 43 |
| 2. 周さんへのてがみ | 劉 琳 | 44 |
| 3. 日本に来たとき | ステンリー・ウルル | 45 |
| 4. 日本に来たとき | ジョウエイド・バシー・アハマド | 46 |
| 5. さいきんのせいかつと日本語の勉強 | アナ・マリア・マサエ・スズキ | 47 |
| 6. ある一日のせいかつ | オルウオレ・アミダ | 48 |
| 7. わたしの一曰 | エベル・エリ・バスケス | 49 |
| 8. うんぜんとしまばらへのえんそく | ブルギン・ディミトリ | 50 |
| 9. わたしの一曰 | 石 立宏 | 51 |
| 10. 私の一曰 | エルファン・ロハディ | 52 |
| 11. 日本へ来たとき | ファーディー・ファルハト | 53 |
| 12. ある一日のせいかつ | 趙 慧 | 54 |

生物餌料としての動物プランクトン ZOOPLANKTON AS LIVE FOOD

ステンリー・ウルル
STENLY WULLUR

おはようございます。

インドネシアからまいりましたステンリー・ウルルともうします。4月2日に長崎へきました。ことしの10月から水産学部の萩原先生の研究室で研究することになっています。

国ではサム・ラトゥランギ大学ではたらいっていました。そこでプランクトンの培養について研究していました。たとえば、植物プランクトンと動物プランクトンの培養です。

私の研究の目的は生物餌料としての動物プランクトンです。萩原先生の研究室で研究します。

動物プランクトンは仔魚の大切なえさです。二つのじゅうような動物プランクトンはワムシとコペポータです。この二つのじゅうような動物プランクトンは世界中の孵化場で仔魚のえさにつかわれています。たとえば、ハタの仔魚です。ハタは、インドネシアの仔魚培養のはってんにいちばん有力な魚のひとつです。ハタにはいろいろな種類があります。たとえば、

1. *Cromileptes altivelis* / Highfin grouper
2. *Epinephelus fuscogutattus* / Tiger grouper
3. *E. malabaricus* / Malabar grouper
4. *E. polyhekadion* / Flowery grouper
5. *E. lanceolatus* / Giant grouper
6. *E. cooides* / Eustarian grouper
7. *Plectropomus leopardus* / Coral trout.

です。

いちばんの問題は仔魚のとき、このハタの口が小さいことです。それで動物プランクトンが食べにくいです。生物餌料としての動物プランクトンのサイズはちょっと大きすぎます。ですから、ハタの仔魚の生残率は低いです。さいきんのレポートでは10%以下だといわれています。

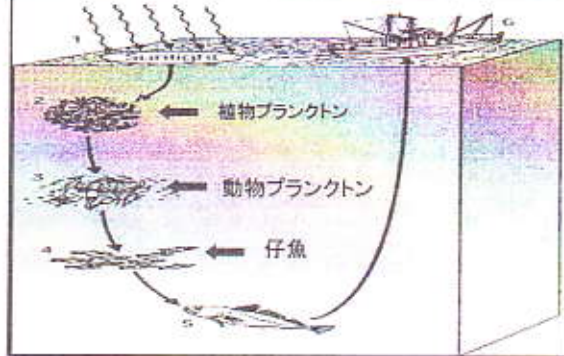
これから萩原先生の研究室で、できれば、ハタの仔魚の生残率を高くする研究をしたいです。

これで私のはっぴょうをおわります。

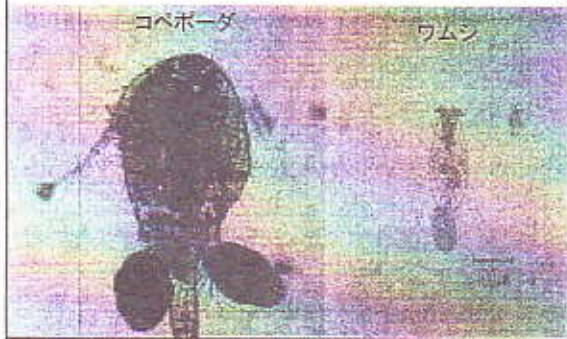
生物餌料としての動物プランクトン

ステンリー・ウルル

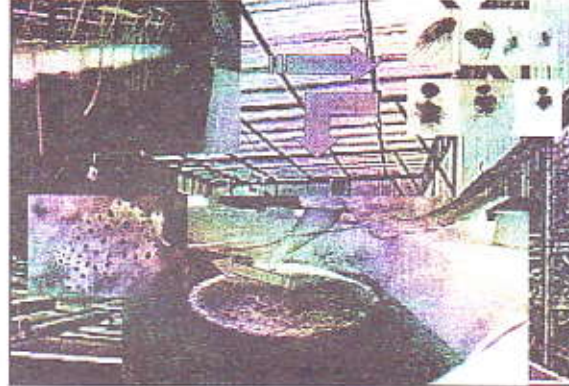
動物プランクトンは仔魚の大切なえさ



二つのじゅうような動物プランクトン



孵化場



ハタ





Zooplankton As Live Food

Stenly Wullur

Zooplankton is among food source for fish larvae at initial stage. In larvae rearing of marine fish, there are two indispensable live foods including Rotifer and Copepod that are being used around the world. But larvae of some fish species including grouper species have special biological characteristics, such as small mouthed size, thus require live food suitable for the larval small mouth size. Some species of grouper reported to have larvae with small mouthed size, including;

1. *Cromileptes altivelis* / Highfin grouper
2. *Epinephelus fuscogutatus* / Tiger grouper
3. *Epinephelus malabaricus* / Malabar grouper
4. *Epinephelus polykhaedon* / Flowery grouper
5. *Epinephelus lanceolatus* / Giant grouper
6. *Epinephelus coides* / Eustarian grouper
7. *Plectropomus leopardus* / coral trout

Due to the larval small mouth size, they are difficult to capture conventional live food particularly at first feeding stage. Survival rate of the larvae at initial feeding stage is only less than 10%. The larvae reported to require smaller size of live food to suit the larval small mouth. Such kind of live food however, still not established yet.